混ぜこぜの社会

二見中学校二年
池田 涼風

私は、トライやるウィークで放課後デイサービスに行きました。その放課後デイサービスはすべての人が分け隔てなく笑顔いっぱいで暮らせる「混ぜこぜの社会」を目指していて、たくさんの子どもたちが通っていました。

初めてで緊張している私に、たくさん話しかけてくれたので、すぐ仲良くなり、いろんな方々との出会いがあり、あっという間の一週間でした。

そこで学んだことは、苦手なことやできないことがあっても、まわりの人に助けてもらったり、自分の得意なことで、人を助けたりしながら、自分もまわりの人のことも、好きになりながら生きていくということでした。

私も苦手なことやできないことがたくさんあって、勉強ができなかったり、整理整とんが苦手だったり。でも自分で自信を持てる得意なこともいくつかあります。デイサービス

20 × 20

に通っている子どもたちは、苦手なことや得意なことが、はっきりわかっているような子が多いなと思いました。それはすごくいいことだと思いました。自分のことがよくわかっているということは、それだけ人に助けを自分からお願いすることができるということだと思うからです。

苦手なことは努力して、がんばってできるようにする。私はそれがあまり好きではありません。子どもにも、それができるように厳しくしつける親も、やっぱり違うと思います。それよりは、苦手なことを自分で知って、困った時に周りの人に手伝ってほしいと言えたりするように育てる方がいいと思いました。

自分の周りに困っている人がいたら手を差しのべる、それが自分ができないようなことなら、できる人を一緒に探して、できる人と協力する。そうしてたくさんの人と手を取り合って、助け合っていけばいいと思います。

大切なことは無理せず、自分を受け入れて

認めること、そして大人や親はそういう子どもたちを認めて、困っていたら助けてあげたらいいと思います。

子どもたちだけに限らず、生きている人全てに対して、みんな誰もができるようになれば自分にストレスをかけてしまうことがなくなり、自分を好きになる人が増えて、自分を好きになれば他の人を認めることができるようになり、いじめや自殺もなくなり、優しい社会になるのではないかと思います。

自分のできること、得意なこと、不得意なことが多いほど、たくさんの人と出会えてたくさんの新しい考えが増えて楽しく生きていけると思います。

私はこれからも、トライやるウィークで学んだ「混ぜこぜの社会」を目指して、自分のことも、周りのことも、大切にしていきたいと思います。

20 × 20